



2023年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年4月11日

上場会社名 株式会社IKホールディングス
 コード番号 2722 URL <https://www.ai-kei.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理統括
 四半期報告書提出予定日 2023年4月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名
 (氏名) 飯田 裕
 (氏名) 高橋 伸宜
 TEL 052-380-0260

(百万円未満切捨て)

1. 2023年5月期第3四半期の連結業績(2022年6月1日～2023年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第3四半期	10,753	11.8	135		119		252	
2022年5月期第3四半期	12,190	25.7	289		262		629	

(注) 包括利益 2023年5月期第3四半期 253百万円 (%) 2022年5月期第3四半期 632百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第3四半期	32.83	
2022年5月期第3四半期	80.20	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年5月期第3四半期	6,559	2,181	32.5
2022年5月期	7,378	2,504	33.5

(参考) 自己資本 2023年5月期第3四半期 2,130百万円 2022年5月期 2,470百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期		0.00		12.00	12.00
2023年5月期		0.00			
2023年5月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年5月期の連結業績予想(2022年6月1日～2023年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,706	10.0	113		131		92		11.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細については、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年5月期3Q	8,308,000 株	2022年5月期	8,308,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2023年5月期3Q	621,276 株	2022年5月期	634,376 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年5月期3Q	7,680,918 株	2022年5月期3Q	7,845,506 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は経営環境の変化により、本資料の予想数値または将来に関する記述と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの行動制限等の緩和により社会経済活動の正常化と新たな生活様式の定着化が進む一方、資源価格の高騰等により、光熱費の上昇や幅広い商品価格の上昇など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは2022年12月より持株会社体制へ移行し、商号を「株式会社 I Kホールディングス」に変更いたしました。これにより、事業ポートフォリオマネジメントの強化、人材育成の強化、迅速な意志決定等を行うことで、企業価値の向上を実現してまいります。

売上面では、収益基盤であります生協ルートでの営業ツールとなる企画提案書の見直しを行い、企画力及び訴求力の向上に努めてまいりました。また、自社のTVショッピング「プライムダイレクト」においては、媒体効率を意識した放映に徹してまいりました。

商品面では、引続きTVショッピングでの拡販を期すべく商品開発とテストマーケティングを行うほか、韓国コスメブランドをバラエティストア及びドラッグストアで拡販すべく営業活動に注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高10,753百万円（前年同四半期比11.8%減）、営業損失135百万円（前年同四半期は289百万円の営業損失）、経常損失119百万円（前年同四半期は262百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失252百万円（前年同四半期は629百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりです。

<ダイレクトマーケティング事業>

売上高は、引続き媒体効率を鑑みながら、「EcoCa(ショッピングカート)」、「スピードヒート(温熱ベスト)」、「クリアレル(布団クリーナー)」、「あとりえ岡田(シューズ)」等の安定した売上が確保できる商品の放映に絞り込みました。SHOPにおいては、化粧品のリアル店舗である「SKINFOOD」は直営店の不採算店7店舗及びフランチャイズ3店舗を閉鎖したことから、当第3四半期連結累計期間の店舗数は直営店舗8店舗のみとなりました。また、韓国コスメブランド店舗「hince」は1店舗、「OLIVE YOUNG」は2店舗、複数の韓国コスメを取り扱う「CHANCE UPON」は1店舗となっております。これらにより、売上高は3,069百万円（前年同四半期比19.0%減）となり、営業損失は194百万円（前年同四半期は600百万円の営業損失）となりました。

<セールスマーケティング事業>

売上高は、通販ルートのTVショッピング通販等への売上が寄与し前年同四半期並みの売上となりました。主力である生協ルートの食品類についても前年同四半期比で微増となりましたものの、雑貨類が低調でありましたことから、同ルート全体では12.3%の減収となりました。店舗ルートは新たな韓国コスメブランドのma:nyoの展開がスタート、同ルートでの売上が牽引しておりますが前年同四半期比では6.2%の減収となりました。また、海外ルートは営業活動を縮小していることから大きく減収しました。

これらにより、売上高は7,293百万円（前年同四半期比9.7%減）となり、営業利益は196百万円（前年同四半期比31.4%減）となりました。

<ITソリューション事業>

売上高は、主力商品となりましたチャットシステム「M-Talk」が堅調に推移しておりますことから389百万円（前年同四半期比20.1%増）となり、営業損失は8百万円（前年同四半期は12百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ858百万円減少しました。

主な流動資産の変動は、「現金及び預金」が205百万円、「受取手形及び売掛金」が530百万円減少したことによりです。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ39百万円増加しました。

主な固定資産の変動は、「有形固定資産」が21百万円、「無形固定資産」が69百万円増加したことと、「投資その他の資産」が51百万円減少したことによりです。この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は6,559百万円となり、前連結会計年度末に比べ819百万円減少しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ337百万円減少しました。

主な流動負債の変動は、「短期借入金」が200百万円増加したこと、「買掛金」が144百万円、「未払金」が250百万円、「未払法人税等」が97百万円減少したことによります。

当第3四半期連結会計期間末の固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ158百万円減少しました。

主な固定負債の変動は、「長期借入金」が168百万円減少したことによります。この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債は4,377百万円となり、前連結会計年度末に比べ496百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、2,181百万円となり、前連結会計年度末に比べ322百万円減少しました。

主な純資産の変動は、「利益剰余金」が344百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年1月12日に公表いたしました「2023年5月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績との差異及び2023年5月期連結業績予想の修正並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。なお、上記の予想は、当社が現時点で把握可能な情報から判断する一定の前提に基づいた見込みであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,075,932	870,924
受取手形及び売掛金	2,612,223	2,081,636
商品及び製品	2,405,121	2,417,574
原材料及び貯蔵品	15,299	14,160
その他	445,800	311,152
貸倒引当金	△1,239	△791
流動資産合計	6,553,139	5,694,657
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	87,239	82,231
土地	80,216	80,216
その他(純額)	29,760	56,734
有形固定資産合計	197,216	219,182
無形固定資産		
のれん	72,038	126,557
その他	136,115	150,802
無形固定資産合計	208,153	277,360
投資その他の資産		
その他	430,979	378,433
貸倒引当金	△11,218	△10,537
投資その他の資産合計	419,761	367,896
固定資産合計	825,132	864,438
資産合計	7,378,271	6,559,096
負債の部		
流動負債		
買掛金	893,214	748,656
短期借入金	800,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	692,777	695,614
未払金	720,741	470,342
未払法人税等	115,846	18,330
賞与引当金	33,530	11,901
事業損失引当金	15,660	8,031
その他	248,135	229,482
流動負債合計	3,519,906	3,182,360
固定負債		
長期借入金	1,044,007	875,842
退職給付に係る負債	140,835	151,041
その他	168,875	168,000
固定負債合計	1,353,717	1,194,883
負債合計	4,873,623	4,377,244

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	620,949	620,949
資本剰余金	680,412	681,430
利益剰余金	1,401,804	1,057,520
自己株式	△233,023	△228,211
株主資本合計	2,470,143	2,131,688
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,165	—
為替換算調整勘定	△902	△1,526
その他の包括利益累計額合計	263	△1,526
新株予約権	34,240	51,690
純資産合計	2,504,647	2,181,852
負債純資産合計	7,378,271	6,559,096

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)
売上高	12,190,076	10,753,021
売上原価	6,567,275	6,159,463
売上総利益	5,622,800	4,593,557
販売費及び一般管理費	5,912,036	4,729,492
営業損失(△)	△289,235	△135,935
営業外収益		
受取利息	762	568
受取手数料	819	568
投資有価証券売却益	—	1,356
為替差益	11,881	—
受取配当金	788	8,048
助成金収入	3,764	—
出向負担金	9,600	—
協力金収入	—	15,622
その他	5,935	12,001
営業外収益合計	33,551	38,164
営業外費用		
支払利息	6,105	7,563
為替差損	—	1,520
事業損失引当金繰入額	—	8,430
退店違約金	—	4,232
その他	293	—
営業外費用合計	6,399	21,746
経常損失(△)	△262,083	△119,517
特別利益		
課徴金引当金戻入額	13,943	—
商標権譲渡益	—	30,000
関係会社株式売却益	—	6,471
特別利益合計	13,943	36,471
特別損失		
固定資産除却損	18,035	—
投資有価証券評価損	—	7,045
顧客補償等対応費用	114,368	—
顧客補償等対応費用引当金繰入額	1,632	—
訴訟関連損失	5,367	—
減損損失	97,464	105,891
特別損失合計	236,868	112,937
税金等調整前四半期純損失(△)	△485,008	△195,983
法人税等	146,989	56,217
四半期純損失(△)	△631,998	△252,200
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,764	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△629,234	△252,200

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)
四半期純損失(△)	△631,998	△252,200
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,077	△1,165
為替換算調整勘定	213	△624
その他の包括利益合計	△864	△1,790
四半期包括利益	△632,862	△253,990
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△630,285	△253,990
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,577	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を利用する方法によっております。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した、会計上の見積りに関する新型コロナウイルス感染症の影響が一定期間続くとの仮定に重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。